

請 願 書

請 願 番 号	第 3 号	受 理 年 月 日	令和6年6月3日
請 願 者	住 所 ○○○○○○○○○○○ 代 表 者 神 田 和 彦		
紹 介 議 員	海老原 直矢		
付 託 委 員 会	健康福祉常任委員会	結 果	採 択

1 件 名 ヤングケアラー調査に関する請願

2 要 旨 上尾市では、令和4年にヤングケアラーの状況を把握するために実態調査を行った。しかし個別にどの児童生徒がヤングケアラーであるかは、わかっていない。早期発見、支援のために、どの児童生徒がヤングケアラーであるかを個別に判断する調査を行うことを要望する。

3 理 由 令和4年度上尾市ヤングケアラー実態調査で小学4年生から6年生のうち7.0%、中学生のうち4.3%がヤングケアラーであると上尾市は判断した。これは人数に換算すると小学生約380名、中学生約240名、合計で600名以上ということになる。しかし今回の調査では600名以上の児童生徒を個別には把握できていない。

ヤングケアラーの問題は、家庭内の問題であり表面化しづらい、子ども自身がヤングケアラーであることに気付いていない等、発見に困難な面が伴う。そのため全国の自治体でヤングケアラーを個別に把握するため独自の工夫をした調査が行われている。

上尾市でも「上尾市子ども・若者ケアラー支援の推進に関する条例」に則り早期発見、支援を行うための新たな調査、各機関の連携体制の構築が必要であると考えます。